
初恋

坂本ユウキ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

初恋

【コード】

N0064W

【作者名】

坂本ユウキ

【あらすじ】

ボクが実際に体験した話です

(前書き)

もうすぐで夏休みになろうとしたときボクは一人の女の子に出会った。
ボクの初恋の始まりである

ネットをやったりゲームをしたり時には友達とカラオケに行ったり野球やサッカーをしたり日の繰り返して一日が終わる。ボク高橋ユウキはスポーツもそこで学力もそこそこあった。しかし女子には全くと言っていい程モテなかったというか話す事さえも出来なかった。(ボクが不細工だからなのかもしれない) 高校の入学式からしばらくたったある日の事である。

ボクはいつものようにネットをしていたときふとボクの頭をよぎった。それは何でボクって彼女出来無いんだろ。

他の人にしてみればどーでもいいことかも知れない。

最初は余り気にしていなかったが時間が経って行くにつれその思いはだんだんと焦りに変わっていった。

ボクはネットで掲示板を作った。それは「彼女募集」という掲示板である。

まさか来るわけ無いかと思いついて一人の女の子が来てくれた。

そしてその子はワタシは彼氏募集してまあすと書き込みをしたのでボクは来てくれてありがとうございます、何処に住んでますかと書き込みをした。

すると福岡ですと返事がきた。

偶然に住んでる所が同じであった。

そ

れからしばらくの間掲示板で話したあとボクはアドレス交換をした。そしてアドレス交換をした後もずっとメールをしていたがしばらくその子にメールをしなかったってどうかするのを忘れてしまいその子には寂しい思いをさせてしまった。ボクは凄く罪悪感に襲われた。

ボクは彼女に対して謝りそして今現在もメールのやりとりをして

いる。それからしばらく時が経ちボクは彼女にデートに誘おうと思
い「来週の土曜か日曜とかって忙しいかな？」とメールを送った。
すると彼女はこうメールを返してきた「ごめんなさい、別れてく
ださい」 ボクは体全身に衝撃が駆け捲った。

ボクは別れなければならぬ理由が知りたく彼女に来てみたが返
事がどれだけ時間が経っても返っては来なかった。

こうして長いようで短かったボクの初恋は幕を閉じた。

(後書き)

それからのボクは恋に関して消極的になりがちになった

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0064w/>

初恋

2011年10月9日14時16分発行